

■世界フラッグフット、伊藤耕世出場の日本男子は11位

2028年のロサンゼルス五輪を見据えて8月30日までフィンランドで開かれた世界フラッグフットボール選手権で、伊藤耕世（京都ジュベナイルズ、北海道大アメフト部出身）が代表を務めた日本男子は11位に終わった。女子は銅メダルだった。9月2日付の北海道新聞によると、1日に関西国際空港に帰国した伊藤は、「最後で決めきれない」と勝負所の試合で競り負けた結果を課題に挙げた。

日本男子はグループリーグ3試合を1位で通過したが、決勝トーナメント1回戦でデンマークに19-20で惜敗し、順位決定戦に回った。北海道新聞によるとデンマーク戦では残り3秒で逆転TDを許した。伊藤は「時間の使い方は、今後も世界と戦う上で重要。個人としてもユニットとしても考えないといけない」と反省。グループリーグのフランス戦でダイビングキャッチで先制TDを奪う活躍を見せたが「安定したプレーは見せられたが、期待された瞬発力を発揮できず、不完全燃焼のところもある」と大会を振り返った。



【写真】世界選手権を終え、関西空港に到着した伊藤耕世